



特集

平成28年度 豊岡市施政方針と予算(案)

平成28年度第1回豊岡市議会定例会(2月26日～3月25日に開催)で、
中貝市長が表明した平成28年度施政方針の概要をお知らせします。
また、市議会に提案した平成28年度当初予算(案)を解説します。

※市長総括説明の全文は市ホームページ「こちら市長室」に掲載しています。





施政方針

最大の課題「地方創生」

すなわち人口減少対策

- 本市の人口減少の要因は、
- ① 高校卒業後の就職・進学期に大きな転出超過、専門学校・大学卒業後の就職期に転入超過。トータルとしては若者層の大幅な転出超過
 - ② その結果、未婚率上昇と相まって出産適齢期の夫婦の数が減少し少子化の原因に
 - ③ その減少した子どもたちが成長して高校卒業後にまた大幅な転出超過となるといふことの悪循環にあると分析しています。

なぜ大学等の卒業後

帰ってこないのか？

社会的・経済的・文化的に豊かな都市と貧しい地方という非常に強いイメージにあると考えています。「豊岡に帰るのは、なんとなく落ちるような気がする」「豊岡と大都市には大きな格差があり、豊岡は劣っている」「豊岡に住む多くの大人も同じイメージの中に閉じ込められています。」

豊岡は貧しく

つまらないのか？

イメージは一面の真実であり、一面の真実でしかありません。私たちは、豊岡には大都市とは異なる価値観に基づく「豊かさ」と楽しさ「やりがいのある仕事がある」ということを若者や自らに訴え、その実を強めていく必要があります。

「ローカル&グローバル」

グローバル化の進展に伴い、世界が急速に同じ顔になり、文化的につまらない世界が広がっています。このような中、ローカルであること、地域固有であることが世界で輝くチャンスになります。しかも、グローバル化の進展によって世界は急速に小さくなりつつあります。豊岡でも直接に世界の人々と結び付くことが可能になってきました。

そこで、豊岡の地域固有なもの、意識してローカルであることを基礎にしてダイレクトに世界と結び付けて世界中で輝き、そのことを自らの誇りやまちづくりのエネルギーへとつなげ、同時に「豊



岡のより豊かで楽しい暮らし「やりがいのある仕事」の創出や発見につなげる作戦です。

それは結局、これまで進めてきた「小さな世界都市」戦略を、人口減少に対する単なる適応策でなく、人口減少の要因そのものに手を付ける戦略として明確に編集し直すことでもあります。

平成28年度は

実質的スタートの年

私たちは、既に方向が強く固まった人口減少トレンドを相手に、圧倒的に不利な闘いに挑もうとしています。

しかし、巧みに戦略を立て、巧みに戦略を練り直しながら市民と総力を挙げて進めば、チャンスはあると信じています。平成28年度は、その実質的スタートの年として全力で走ります。